



剣道部

■ 1902年(明治35年)公認

部員数

55名



部長
君塚弘恭
社会科学総合学院
教授



監督
武井宏樹



主将
門田功成
社会科学部
育英

2025年度剣道部男子は、全日本学生剣道選手権大会(個人戦)には、3名が出場したが、思うような結果が残せず、早慶戦も今年は厳しい結果となった。しかし、この悔しさをバネに稽古を積み重ね、秋の全日本学生剣道優勝大会においては団体戦全国ベスト8入賞を果たした。剣道部女子は、全日本女子学生剣道選手権大会(個人戦)には、3名が出場し、3年の松山選手が3位入賞、同じく3年の海野選手がベスト8入賞を果たした。秋の全日本女子学生剣道優勝大会(団体戦)は悔しい結果となったが、女子早慶戦では、昨年の雪辱を果たし、優勝することができた。2026年度は、このような先輩たちの成果を引き継ぎ、さらなる飛躍を遂げることを期待したい。

2025年、早稲田大学剣道部は主将を中心に一致団結し、不撓不屈の精神で稽古に励み、大なる飛躍を遂げました。春の関西遠征で警察・実業団のトップレベルと剣を交えた経験は、早速個人戦での成果となり男女6名全日本出場という結果を残しました。夏の尾瀬合宿では酷暑のなか猛稽古を耐え抜き、部員同士の結束と連帯感を一層深めました。秋の団体戦では男女とも全日本への道を勝ち取り、男子は全日本ベスト8、女子は早慶戦優勝という結果を残しました。誰よりも稽古する幹部陣の率先垂範の姿勢が柱となり、チームに勢いを生み出しました。最後まで初志貫徹のリーダーシップで、剣道部を牽引した4年生達の功績に称賛を表したいと思います。

私が剣道部で過ごした四年間は、挑戦と成長の連続だった。特に主将として部を率いた2025年度は日本一を目標に掲げ、結果に繋げるために必要な要素を考えつけた。名門早稲田剣道部の主将として過ごした1年で剣道は勿論、人間的にも大きく成長した。私についてきてくれた部員、特に辛い時や苦しい時も常に側で支えてくれた同期には本当に感謝している。今年は全日本学生大会に個人戦、団体戦全ての部門において男女で出場することができた。さらに早慶戦では準優勝という輝かしい成績を残すことができた。これは日々の厳しい稽古や遠征の賜物だと感じている。後輩諸君、来年日本一になってください。四年間ありがとうございました。



主務
中山 祥
商学部
広島大学附属



女子部門主将
矢野 ひかる
社会科学部
日吉ヶ丘



女子部門主務
湯山 琴未
人間科学部
茗溪学園

早稲田大学剣道部の門を叩いて3年半、瞬く間に時は過ぎ、引退を迎えました。この3年半は15年間の剣道人生の中で最も濃密な時間でした。全てが順風満帆だったわけではなく、辛いことも部を辞めたいこともありました。しかし、どんな困難も乗り越えることができたのは同期を始めとする周囲の人々のごが大好きでこの人たちと日本一を成し遂げたいと思ったからでした。主務という役職に就かせていただき、この1年間たくさんの経験をさせていただきました。力不足の主務でしたが、文句も言わずついて来てくれた後輩たちにありがとうと伝えたいです。これからは剣道部のOBとして、未来へ応援していきたいと思えます。この4年間関わってくださった全ての皆様、本当にありがとうございました。

剣道部での4年間は、自分がかにかに恵まれた環境にいるかを実感する日々でした。日本一、早慶戦優勝を目指し、仲間と切磋琢磨する中で、主将として様々なバックグラウンドを持つ部員をどうまとめるかを常に模索し続けてまいりました。思うような結果が出ず、もっとできたのでは悩むこともありましたが、その度に多くの方々を支えられました。特に女子同期がいない中で、男子同期の存在に何度も救われました。社会に出てからも、この貴重な経験と感謝の気持ちを胸に、人との出会いを大切に生きていきます。関わってくださったすべての方々に心から感謝申し上げます。

今年度、早稲田大学剣道部女子主務を務めさせていただきました。伝統ある剣道部の運営を1人だけ3年生で担うという点で不安はありましたが、目標である「日本一」に向かい、ひたむきに稽古に励む部員たちの姿が、私にとって原動力になりました。2025年は、部員一人ひとりが自らの役割を全うし、組織として大きく成長できた一年であったと確信しております。今年学んだことを活かして、2026年の運営にも活かしていきたいと思えます。最後になりますが、多大なるご支援を賜りました師範、先輩方、そして関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇第71回関東学生剣道選手権大会一日目 (5月12日)

- ▷門田 ベスト16 全日本学生出場
- ▷増田 (四回戦敗退) 全日本学生出場
- ▷齋藤裕 (敗者復活一回戦敗退)
- ▷指本 (五回戦敗退) 全日本学生出場
- ▷横山 (二回戦敗退)
- ▷平山 (二回戦敗退)
- ▷関 (一回戦敗退)

◇第73回全日本学生剣道選手権大会(一日目) (7月5日)

- ▷門田 (一回戦敗退)
- ▷増田 (三回戦敗退)
- ▷指本 (二回戦敗退)

◇第74回関東学生剣道優勝大会 (9月7日)

- ベスト16/全日本出場
- ▷1回戦 桐蔭横浜大学(O3-1)
- ▷2回戦 工学院(O6-0)
- ▷3回戦 東洋大(●1-2)

◇第89回早慶対抗女子剣道試合 (10月12日)

- 準優勝
- ▷優秀選手 中山、横山、関

◇第76回関東学生剣道新人大会 (11月30日)

- 二回戦敗退
- ▷一回戦 東京国際大学(O3-2)
- ▷二回戦 東洋大(O2-3)

(女子)

◇第57回関東女子学生剣道選手権大会 (5月12日)

- ▷矢野 (三回戦敗退)
- ▷鈴木 ベスト16 全日本学生出場
- ▷海野 ベスト8 全日本学生出場
- ▷松山 五回戦敗退 全日本出場
- ▷太田 (一回戦敗退)

◇第51回関東女子学生剣道優勝大会 (9月20日)

- ベスト16/全日本出場
- ▷1回戦 帝京大(O3-0)

▷2回戦 高崎健大(O1-0)

▷3回戦 東洋大(●2-3)

◇第42回早慶対抗女子剣道試合 (9月28日)

- 優勝
- ▷優秀選手

◇第44回全日本女子学生剣道優勝大会 (10月12日)

- 二回戦敗退
- ▷一回戦 中部学院大学(O3-1)
- ▷二回戦 田園学院大学(●1-3)

